



水稲生産情報 (9月号)

令和3年9月16日
JA つがる弘前
弘前北地区営農係

≪ 刈取り適期について ≫

刈取り適期が早まっております。本年は出穂期以降の気温が高く経過していることから登熟が早まり、刈取適期は平年より6日ほど早まっております。刈取適期を過ぎると、胴割粒などの発生が増加するため、品質が低下していきますので、できるだけ適期内に刈り終えるようにしましょう。

◎積算気温からの刈取りの目安

品 種	出穂後積算気温	管内平均出穂日	刈取り適期
つがるロマン	960~1,150℃	7月31日	9月11日~9月20日
まっしぐら	960~1,200℃	7月28日	9月7日~9月18日

≪ 適期刈取りの目安 ≫

1. 出穂後の積算気温
2. 水田全体の90%が黄化
3. 1穂の青未熟粒が1割程度に減少
4. 枝梗の3分の2程度が黄化



※本年は、水田ごとの登熟にばらつきがあるため、実際の水田や穂の状態を確認しながら刈遅れに注意してください。

≪ 作業中事故の防止 ≫

- 作業前に機械の整備点検を必ず行いましょう。
- 作業中に機械を調整するときや、故障等で点検するときは、必ずエンジンを止めてから作業しましょう。

≪ 稲わらすき込みについて ≫

稲わらをすき込むと、土壌は徐々に団粒化を形成し、保水、排水、通気性が向上します。また、ケイ酸の補給になることから、胴割れ粒、稲の倒伏の軽減につながります。刈取り後、石灰窒素などの腐熟促進資材を散布してできるだけ早くすき込みをしましょう。

腐熟促進資材

- 石灰窒素 20 kg 1袋 3,211円 (10a当たり1袋)
- わらゴールド 15 kg 1袋 1,304円 (10a当たり2袋)

わら焼きで発生する煙は、人体に悪影響を及ぼすほか、交通の妨げになります。田にすき込んだり、畑に稲わらマルチとして使うなど有効活用しましょう。



刈り遅れに注意して、品質の高い米の収穫に努めましょう。

刈取り後は、速やかに栽培履歴の提出をお願いします。